



小島友実の あの馬の **STORY**



2月7日・東京・初勝利時のゴール前

D-ズボウル

ローズボウルは父がキズナで、母はダービー勝ち馬を挙げたオールドパサチナ。1歳募集時のインタビューで林徹調教師に伺つた際「私も今から楽しみでなりません」と期待されていました。

しかし林師が振り返る所によれば、昨年10月のデビューウィークと11月に東京のダート1600メートル戦を走りましたが、11着、6着と結果が出ませんでした。

「初戦はキックバックを嫌がり、後方から。それでも直線では脚を使つたので力はあると感じました。キックバックを嫌がる馬は時々いて、2戦目で慣れる事が多いです。でもローズボウルは2戦目でも気にしてその嫌がり方が尋常ではなかつたから、頭を抱えてしまつました(苦笑)。デビューウィーク前の調教ではそんな素振りを一切見せなかつたので、2戦目の後に大野拓弥騎手から『馬鹿で対応したらどうすか』と助言がありました。それで3戦目の前の調教時からホライゾンツーリング

頭に立つ競馬で、何よりレース内容を見て驚きました。最後の2ハロフが12秒3で12秒3で最後1頭になってしまふ失速していな」といふ。

わいじ林師は研究を重ね、次走も東京ダービーへの出戦に向ひて判断しました。

「去年の中山ダービー800メートル戦の1勝フワズの前半3ハロフのアップを調べるヒ、今のはローズボウルでは前に行けない可能性が判明しました。もし中山戦で内枠を引いてもまれる競馬にならしきめたら悔やみきれません。一方で、この馬の未勝利戦の勝ちタイムは、昨年の東京ダービーの1勝2ハロフ比較しても

「未勝利戦の勝ち方を見限る限り、
最後に今後の目標を伺いました。
ステージで活躍できる力を持つてつな
と思ひます。今後も結果を出して、
に喜んでいただきたい。それが一番
いです。田の前の課題を一つずつクリア
し、試行錯誤しながら頑張っていき
のよろしくお願ひ申し上げます」
今まさに成長期にあるローブボス
次の東京戦のバージョンではじんな姿
せいぐれのか本当に楽しめですね。

「ロードボトルは走りにロスがなく、スピードの持続力があります。これが大きな長所ですね。現状では切れやハネがあくタイプではなくて、やはるターボが向いてる」と眞鍋浩三。ターボなり距離感伸びても大丈夫でしょ。今後さらに成長していくスピードが上がりてくれるはずだ。選択肢も出していくと思いますが、まずはしっかりターボで結果を出してもらいたいですね」

ターミナリティに向かうなどないと半
断わせて頂きました】
中山戦の後は山元トレセンへ放牧に出
て、1月7日に帰厩。つづべき所に筋肉
がつき体もしくなりました。前走以上の

「冬はアスリの症状が出なかたのです
が、暑くなる今後は一つの課題ですね。私
の厩舎ではペグリ¹対策として電解質入り
の飲み水をかけています。脚元を含め、馬
体の管理もしっかりと行なってきまわ
適性をじいじ見ていくのもいいですね。」

着止めながらしたんですか
「うつに向かった12回の中山ダーティー¹
800メートル戦。結果は着でした。
「東京への戦を踏まべれば前に行く
しかなことこの事で、中山戦の前にゲー
トの発進練習をしてました。それで
も中山戦では6枠から出して行ったのに
取れたポジションが6番手。あれを

十分鬪えるベルなどない
初勝利後は山元トレセンへ放牧。先
日、林師は牧場で馬の様子を見ておなじく
つゞ「体にメリハリが出てきて更に良くな
なってきました」と話してくれました。
次走は5月22日の東京ダート2100
メートル戦の予定。目標の1ペース戻す、厩舎で
は万全の対策を行つたのである。

競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアソビ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（主婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の歴史。最近は地方競馬場の馬場取材を行っていろ。

profile

profile 競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（主婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。